



平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

道府県・政令市名【宮城県】

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

1 実践テーマ	【V】
2 実施対象者	栗原市立宮野小学校 全校児童129名（男子61名，女子68名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（道徳） ② 行事名（栗原市小学校陸上競技大会・栗原市南部小学校水泳大会） ③ その他（業間マラソン・オリンピックパラリンピックコーナーの設置）
4 目標 (ねらい)	○全員が自己ベストを目指す児童の育成 ・ 体力向上に向け、業間マラソンや長縄跳び、陸上・水泳競技に取り組ませる。 ・ オリンピック・パラリンピックの知識理解を深めさせる。 ・ 自分の目標に向かって努力し、自己ベストを目指し、自らを高めようとする態度を育成する。
5 取組内容	○体力向上に向けた取組 ・ 体力向上に向け、年間を通して業間マラソンを行ったり、各種大会に向けた放課後練習会を行ったりしてきた。 陸上や水泳の練習では、学区内の築館高等学校陸上部の皆さんや、水泳部の皆さんに来校していただき、指導してもらった。先輩方の走りや泳ぎを参考にし、自分の記録を伸ばそうと熱心に練習に取り組む児童の姿が見られた。  ○オリンピック・パラリンピックの知識理解を深めさせる取組 ・ 校内にオリンピック・パラリンピックの掲示コーナーを設置し、競技種目やマスコットキャラクターの紹介などの掲示を行った。 自分が入っているスポーツクラブの種目や、パラリンピックの選手の写真の前で足を止め、興味深く眺めたり、それぞれの種目を覚えたりする児童の姿が見られた。 「東京大会ではサッカーを見に行きたい。」「私はホッケーを見に行きたい。」という会話から、関心の高まりも感じた。 

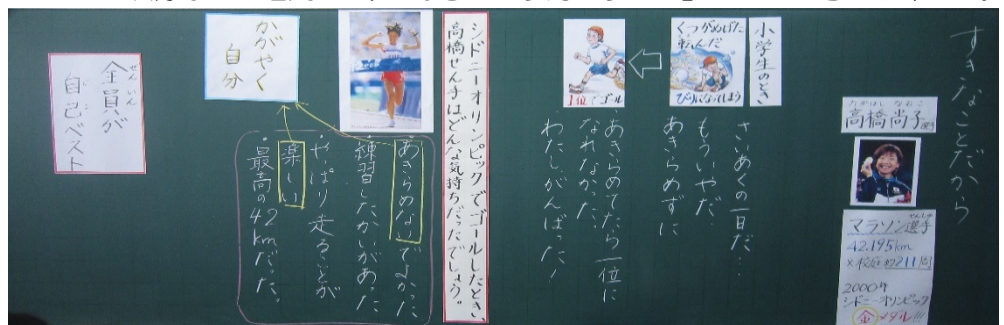
- ・ オリンピック・パラリンピック関連図書を購入し、図書室に特設コーナーを設置しました。子どもたちが興味をもって本を読んでいた。



○努力し、自らを高めようとする態度を育てる取組

<3年：道徳「かがやく自分になろう」>

- ・ シドニーオリンピック、女子マラソンの金メダリスト高橋尚子選手を題材にした資料で授業を行った。シドニーオリンピックの映像資料や、高橋選手のインタビュー映像などを活用して、「あきらめず努力する心」について考えを深めた。



【児童のワークシートより】

- ・ わたしも高橋選手のように、空手の練習をあきらめないでがんばりたいです。
- ・ 苦しくてもがんばれば、夢がかなうと思いました。
- ・ 自分はすごいやなことがあるとすぐあきらめてしまうけれど、あきらめずにがんばりたいです。

6 主な成果

- ・ 児童のワークシートや水泳部、空手部の活動や水泳部、空手部の活動が、児童の運動意欲を向上させた。
- ・ オリンピック・パラリンピックに関連する写真の掲示や図書コーナーの設置により、オリンピック・パラリンピックに関する知識・理解や興味・関心を深めることができた。特に、東京大会に対する期待や興味の高まりが感じられた。
- ・ 道徳の指導では、オリンピックの活躍や生き方から、憧れを抱いたり、困難なことでもあきらめず頑張る心の大切さを学んだりすることができた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- ・ これまで本校で実施してきた体づくりの活動と本事業を関連させ、地域の先輩やオリンピック選手への憧れをもたせ、志教育の視点で本事業を推進した。
- ・ 授業では、映像資料を活用することで、オリンピック競技の実際と選手の活躍する姿を、学習目標に照らし合わせ、伝えることができた。
- ・ 校舎内にオリンピック・パラリンピックコーナー (掲示・図書) を設置したことにより、児童が進んでオリンピック・パラリンピックに親しむことができた。

8 主な課題等

- ・ 全学年の年間指導計画にオリンピック・パラリンピック教育についての授業を位置付けて指導することで、さらに本事業のねらいに迫ることができたと思う。
- ・ 家庭や地域に、オリンピック・パラリンピック教育について情報を発信することにより、本事業を地域全体で推進することができたと思う。

9 来年度以降の実施予定

- ・ オリンピック・パラリンピックコーナーの継続設置。